

東京江戸散歩 その拾一 深川 ③

左：清澄庭園
下：芭蕉稲荷



写真/文 七海邦夫

清澄庭園は江戸の家商紀伊国屋文左衛門の屋敷跡とも伝えられている。下総関宿藩久世家の下屋敷であった。

明治十一年（1878）岩崎弥太郎がこの邸地を社員の慰安や貴賓を招待する場所として造園を計画し、隅田川の水を引いた大泉池・築山をはじめ、周囲には全国から取り寄せた名石を配して明治の庭園を代表する「回遊式林泉庭園」として完成した。

庭園の正面の本誓寺は浄土宗江戸四ヶ寺の一数えられた。国学者の村田春海、ボマードで知られる柳屋の始祖、呂一官の墓がある。

清澄庭園から小名木川迄の間には、大鵬部屋、

北の湖部屋、尾車部屋などの相撲部屋が点在している。隅田川に小名木川が合流する万年橋一帯は、北斎や広重が好んで描いた江戸の名所。

万年橋を渡って左折した所に芭蕉稲荷と「古池や、」の句碑があり、ここが芭蕉庵跡、いやも、と東の六軒掘川の跡あたりなど諸説あって定まらぬが、文久二年（1862）の本所深川絵図では万年橋脇の紀州藩の屋敷内に芭蕉庵の文字があるから現在の常盤一丁目付近としておくのがいいだろう。

稲荷の脇から川べりの高台に上った所に芭蕉庵史跡展望庭園がある。芭蕉像やゆかりの屋外展示場が有り清洲橋の優雅な

姿が間近に眺められる。望庭園から少し行くと芭蕉記念館で、芭蕉関係の資料二千点を展示。狭いながら筑山風を作って蕉風俳諧にまつわる草木を植え込んでいる。

最後にお勧めスポットを。清水甘酒店（明治元年創業）、基角せんべい（日本一堅いけんこつ）、筑定（大正七年創業の手作り無添加の佃煮）、ダイニング茂吉（山芋料理）、甘味処由はら（あんずあんみつ）、深川宿（深川めし）、魚保（佃煮）、庄之助深川白河店（最中）、江戸みやげ屋たかはし（手ぬぐい、風呂敷、深川めしの素）、宮古（大正十三年創業、深川めしのルーツの店）、カトレア（元祖カレーパン）。

次回はお月島・築地

世評・時評

一難去ってまた一難というが、経済危機の嵐がまだ吹き止まない内に、次の新型インフルエンザという危機がきた。幸い、当初懸念されたほど悪性でないようだが、新型で免疫がないから、アッと間に世界中に蔓延した。日本は最初、水際作戦で

ウイルスが入るのを防ぐとしたが、いつの間に入ったのか、関西地区で渡航歴のない若い人々を中心に流行が始まり、世界で4番目に患者が多く出るといふ名誉を担っている。首都圏に発生するのも時間の問題と思っていたが、所詮、いまどき鎖国なんて無理な話なのである。ウイルスとは、ギリシヤ語で、「毒」を意味するそうだが、自分では細胞を構

成せず、他の生物の細胞を利用してだけ代謝、増殖し、宿主に影響を及ぼし、主に多くの場合、病気をもたらす病原体になる。ろ過性病原体とある微少な非生物とされている。増殖するのに宿主細胞のエネルギーや栄養を必要とするので、宿主もそれに對抗して免疫システムを働かせ、ウイルスに乗っ取られた細胞が自ら死に他の細胞への感染を防ぐなどして、宿主を守る働きをする。

毒舌・独言

日本の将来を愛い、「喝」を一つ出したい。四月半ばの早朝、私は米国ロサンジェルス空港に到着し、乗継でカナダへ向かう途中であった。すると、出口にだらしなく並ぶ日本の男子高校生。恐らくは私学の修学旅行であろう、引率の教師と思しき数名

の大人と旗を持つツアーガイドなどがいた。長旅で疲れているのは分かるがその覇気の無さは異様であり、たぶん運動系の部活はしていないであろう富強な肉体と、皆が一樣に備きながらゲーム機を操る姿はまさに「国辱」もの。私の教育論は、知育・体育・徳育のバランスに集約されるが、彼らの姿にその痕跡は見当たらず、情けなさを超えて怒りすら感じた。

そして駄目押し一発！カナダ行き搭乗口近辺にいたのが米国高校生連である。背筋が伸び深刺とした若者連。学年末の

キャンピング実習に行くのであろう大きな荷物を自分で運び、これから訪ねるカナダの山々の話に興じる姿は、周囲に好感を与えている。男女共に、健康そうな身体を持ち仲間同士が会話をし、そんな普通の出来事に私は感激し、同時に思った。「このままでは日本がだめになる」何時の頃からか我が国の教育は家庭や社会から離れ、学校任せになってしまった。学校は、特に初等教育は、サラリーマン教師と形骸化したPTA、そして近頃はモンスターペアレント連のお座成り猿芝居運営に侵食され、方や家庭は、かつて保持していた「独特の温もり」を失いつつある。本来社会は善意に担保された「緩やかな安心感」を必要とする。捨て去れば急速に崩壊するが、今まさに、日本はこれを捨てようとしている。

我々大人連の一人一人が、後輩としての子供達に何を教えるべきか？真剣に考える時間は僅かしか残されていない。「未来」は「今」作られている。（朱夏）

利用者さんの紹介コーナー

室橋 義郎

私は学生時代よりスキーを毎年楽しんできました。大きな病気もなく、今は毎日十五分位の散歩はかかしません。



田口 浩美

いつも楽しみに通っています。まだまだ若いつもりです。握力、脚力も自信があります。これからもよろしく指導のほどをお願いいたします。



泉 貞子

早や三カ月経ちました。スタッフの方々が親切で、お食事もとても美味しくて、次の週が待ち遠しいです。皆様と共に楽しく充実した余生を送りたいと願っております。



坂原 愛子

今年の三月から通所し

ています。リハビリを続け、体力がつけられたらバス旅行がしたいです。



鈴木 千枝子

通所して間もないです。デイサービスを三カ所見学しましたが、薬に決めてよかったと思っております。これからもよろしくお願いたします。



西澤 久

家に一人でいることが多いので、薬に來ると皆様とお話でき楽しく過ごせます。週二回通所できたらと思っております。



細谷 政昭

薬に通って二カ月ほどたちますが、家に一人であるより薬に來て皆さんと話をして、一日を楽しく過ごせています。



随筆

PPKKの

願い
増田 次郎

私は今のところ死への恐怖は、全くありません。あるのは最後まで心身とも健康でいられるかという心配です。皆さんPKという言葉をご存じでしょう。ピンピンコロリの頭文字です。

私はごくごく平凡で思えるかな男ですから、いつ認知症になるか分からないと恐れています。私なりに認知症の人々を観察していると、どうも人との交際が少ないことは危険だと思えます。そういう意味で、薬さんには健康を改善しよう、寝たきりにはなるまいと考えてお

随想

妄想
矢野 敏郎

健康、運動オタクを自他共に誇り、生来の運神不足ながらも、晩年はジョギング、水泳、スキー、ゴルフ、空手などに励み、まわりからも、矢野さんの年齢のときさのようにできるかなとお世辞を言われて満足した毎日を送っていたが、平成十五年十一月の脳梗塞発症の後遺症のため、左半身が不自由となり左手は腕が上らず、拍手が出来ず、手の平のグーパー不能で、ひ

られる方が多いと思えます。薬さんには週一回、土曜日だけ通わせて貰っています。親切なスタッフや意欲的な参加者のお付合いはとても有効だと思っております。

いまだに翻訳の仕事をしていきます。これは僅かながらでもお金を頂きながら、認知症予防のリハビリをさせて頂いているわけ、有り難いことです。私は翻訳ぐらいしか特技がありませんが、何でもよいのです。倅の嫁は子供たちに絵本の読み聞かせをやっているそうです。得意なことをやれば、認知症の予防になると思えます。

げそりの快感を味わえず、歩行は常人の倍以上の時間を要し、日常生活は妻がいなければ何も出来ない曲痒さや、テレビCMでの温泉など入浴や行楽地の楽しみ方をみるにつけ、昔の事を考えるなど云われても、ツイツイ切なくなりました。それでも妻の扶けでクルラス会や空手の審査会など目標にむかったりするど心の癒しになる。何の為に生きているのかと悲観的になったりするが、「薬友の会」の行事やカラオケなどで少しはストレス解消に努めている。

随想

般若心経と
向き合って
横山 稔

一年前に、東光訪問看護ステーションのお薦めで始めました。

般若心経は、知恵の教えを説き尽くした三〇〇万字にも及ぶ大般若経を二万分の一に凝縮した最も大切な性質（エッセンス）です。

わすか二七六文字の短横山さんの作品一

随想

京の庭園巡りを目標にします。目標を持つことは認知症予防に最適だと思えます。

私の携帯電話には歩数計機能があります。今までの最高記録は一日七千歩。毎日歩くことで元気がいいと思っております。

い教典ですが、般若心経を究めれば仏教の三本柱の一つである知恵の教えが会得できて、仏の悟りに到達できると思います。般若心経は宗派を超えて、いろいろな人に親しまれています。

書き終えし
写経一葉 春彼岸
横山 知秋

随想

去る五月十七日、薬友の会第二回総会・懇親会が勤労福祉会館において開催され、今年度の役員が皆さんが決まりましたのでお知らせします。

（敬称略）

- 会長 金山 鏡
- 副会長 山田 良子
- 会計 七海 邦夫
- 会計 斎藤 恒幸
- 監査役 矢野 敏郎
- 監査役 横山 稔
- 委員 高井 眞知男
- 委員 柳生 昭子
- 委員 伊藤 エリ子
- 委員 山本 敏子
- 委員 小野 善蔵

新役員の皆さん、今年一年間のボランティア宜しくお願致します。
（事務局長）

水ぬるみ
アヒルもすいすい
う
鶴子 森田田

折る指たのし水温む
桜かな

花いっぱい
こぼれけり
澤 道雄

何時來ても
気楽に集う契かな

春の空
飽きず眺めて
美しき
本橋 富子

薬友の会 広報コーナー

薬は「心と身体のリハビリ」で元気な「笑顔」を作ります